

**B：虐待防止に関する取り組みの推進・改善シート（試案）**

1. チェックリストにより、取り組みが進んでいない事項や更に改善する必要のある事項の原因や課題

現在において虐待と思われる事例に遭遇したことがないこともあり、実際に虐待が発生した時の対応方法についての準備と職員間での共有が不十分な状態。

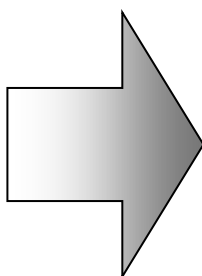
---

---

---

---

---



2. 1の解決・改善に向けて必要な対応や工夫、現時点で対応が困難である場合にはその理由

さまざまな状況に応じた対応事例について、教室内で話し合う。また、それをきっちりと共有し、社内での共通事項として定着させる。

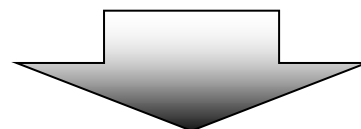
---

---

---

---

---



4. 解決・改善状況の評価と更に取り組みを要する課題の整理

---

---

---

---

---

---

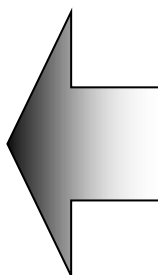
---

---

---

---

---



3. 解決・改善に向けて必要な対応、工夫の具体的な進め方（計画）、目標とする期間

可能な限り早い段階での社内ミーティングの実施

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

スタッフ氏名	はい	いいえ
1 利用者への対応、受答え、挨拶等は丁寧に行うよう日々、心がけている。	○	
2 利用者の人格を尊重し、接し方や呼称に配慮している。	○	
3 利用者への説明はわかり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。	○	
4 職務上知りえた利用者の個人情報については慎重な取り扱いに留意している。	○	
5 利用者の同意を事前に得ることなく、郵送物の開封、所持品の確認、見学者等の居室への立ち入り等を行わないようにしている。	○	
6 利用者の意見、訴えに対し、無視や否定的な態度をとらないようにしている。	○	
7 利用者を長時間待たせたりしないようにしている。	○	
8 利用者の嫌がることを強要すること、また、嫌悪感を抱かせるような支援、訓練等を行わないようにしている。	○	
9 危険回避のための行動上の制限が予想される事項については、事前に本人、家族に説明し同意を得るとともに、方法を検討し実施にあたっては複数の職員によるチームアプローチをとっている。	○	
10 利用者に対するサービス提供に関わる記録書類(ケース記録等)について、対応に困難が生じた事柄や不適切と思われる対応をやむを得ず行った場合等の状況も適切に記入している。	○	
11 ある特定の利用者に対して、ぞんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。		○
12 ある特定の職員に対して、ぞんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。		○
13 他の職員のサービス提供や利用者への対応について問題があると感じることがある。		○
14 上司と日々のサービス提供に関わる対応について問題があると感じることがある。		○
15 職員と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。		○
16 他の職員が利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面に出くわしたことがある。		○
17 <u>他の職員が利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面を容認したこと(注意できなかったこと)がある。</u>		○
18 最近、特に利用者へのサービス提供に関する悩みを持ち続けている。		○
19 最近、特に仕事にやる気を感じないことがある。		○
20 最近、特に体調がすぐれないと感じることがある。		○

## 施設・地域における障害者虐待防止リスト

## 体制整備チェックリスト

はい/できている・・○ いいえ/できていない・・×

項目	チェック欄	
	はい	いいえ
規定、マニュアルやチェックリスト等の整備		
1 倫理綱領、行動規範等を定めている。	○	
2 倫理綱領、行動規範等について職員への周知徹底ができている。	○	
3 虐待防止マニュアルやチェックリスト等を作成している。	○	
4 虐待防止マニュアルやチェックリスト等について職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	
5 緊急やむを得ない場合の身体拘束等の手続き、方法を明確に定め、職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	
6 身体拘束について検討する場を定期的に設けている。	○	
7 緊急やむを得ない場合の身体拘束等について、利用者(家族)に説明を行い、事前に同意を得ている。	○	
8 個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。	○	
9 個別支援計画作成会議は、利用者の参加を得て実施している。	○	
職員への意識啓発、研修	はい	いいえ
10 職員に対して、虐待の防止に関する研修や学習を実施している。	○	
11 日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。	○	
12 職員の虐待防止に関する意識、関心を高めるための掲示物などを掲示している。	○	
13 職員チェックリストの活用を図り、職員の虐待に対する意識や日々のサービス提供などの状況把握に努めている。	○	
14 早期発見チェックリストの利用の徹底を図るとともに、発見時の報告、対応等について明確にしている。		

## 施設・地域における障害者虐待防止リスト

## 体制整備チェックリスト

はい/できている・・○ いいえ/できていない・・×

項目	チェック欄	
	はい	いいえ
外部からのチェック		
15 福祉サービス第三者評価事業を活用し、サービスの質の向上等に努めている。		○
16 福祉サービス第三者評価事業を一定の期間ごとに継続的に受審している。		○
17 虐待の防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他の施設の職員等による評価、チェックを受けている。		○
18 施設、事業所の事業、監査において虐待防止に関わるチェックなどを実施している。	○	
19 ボランティアの受け入れを積極的に行っている。	○	
20 実習生の受け入れを積極的に行っている。	○	
21 家族、利用希望者の訪問、見学は随時受けている。	○	
苦情、虐待事案への対応等の体制の整備	はい	いいえ
22 虐待防止に関する責任者を定めている。	○	
23 虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。	○	
24 苦情相談窓口を設置し、利用者にわかりやすく案内するとともに、苦情解決責任者を規定等に定め、利用者からの苦情の解決に努めている。	○	
25 苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者に案内をしている。	○	
26 職員が支援などに関する悩みを相談することができる相談体制を備えている。	○	
27 施設内での虐待事案の発生時の対応方法を具体的に文章化している。	○	
28 施設内での虐待事案の発生した場合の再発防止策を具体的に文章化している。	○	
そのほか	はい	いいえ
29 施設において利用者の金銭および貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとになされている。	○	
30 施設は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。	○	
31 施設経営者、管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。	○	

施設・地域における障害者虐待防止リスト 体制整備チェックリスト

はい/できている・・・○ いいえ/できていない・・・×

項目		チェック欄	
32	施設経営者、管理者は施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている。	○	
33	利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている。		○
34	希望や必要に応じて成年後見制度の活用等について利用者、家族に説明を行っている。		○
35	利用者・家族、一般市民やオンブズマンなどからの情報開示にいつでも応じられる準備をしている。	○	
36	虐待の防止や権利擁護について利用者・家族、関係機関との意見交換の場を設けている。	○	

スタッフ氏名	はい	いいえ
1 障害者(児)やその家族、地域住民等に対し、虐待の防止に関する普及・啓発を実施している。	○	
2 家族、地域関係者との連携と情報交換を積極的に行い、虐待の可能性のある事案の観察や早期発見に努めている。	○	
3 地域における虐待防止において、障害福祉サービス事業者(施設)などの事業者間の連携を図っている。	○	
4 地域における虐待防止について、相談支援事業者、地域自立支援協議会や行政機関と連携・協力(意見交換を含む)をしている。	○	
5 虐待事案のみならず、福祉サービスの利用者等を含め、相談窓口を設置・広報し、地域住民の相談を受けている。	○	
6 地域の障害者が虐待を受けた場合の積極的な受入れ(市町村からの依頼があった場合)を行っている。	○	
7 虐待を受けた障害者・児の受け入れとその支援に関するマニュアル等を一般のマニュアル等とは別に作成している(虐待を受けた障害者・児への支援)。		○
8 虐待事案の疑いがある場合、もしくは発見した場合の相談支援事業者や行政機関等への連絡(通報)について手順等が具体的に文章化している。	○	
9 虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合に直接訪問する等の対応を行う努力をしている。	○	
10 虐待事案の疑いがある場合、もしくは発見した場合に施設・事業所として迅速かつ一元的な対応が可能となる体制を事前に定めている。	○	